

# ひびきあい

学校だより 2月号

令和4年 1月31日

横浜市立新田小学校

## 学校は、人を幸せにするところ

校長 村岡 靖

大雪が降った日の中休み。校庭の真っ白い雪の上は、笑顔いっぱいの子もたちの姿であふれていました。青空の下、さらさらの雪をすくって投げたり、雪だるまを作ったり、普段できない体験を楽しんでいました。

先日、慶応大学の前野隆司教授のお話を伺う機会がありました。前野教授は機械工学が専門ですが、今は well being (幸福論)の学会長をされていて、国のお仕事もされている方です。前野教授の話では、幸せだと感じることができている人は、創造性は3倍、生産性でも31%増加するそうです。そして、精神的な病気にかかりにくくなり、事故やミスも大きく減少するという話でした。

では、どうすれば幸せを感じることができるのでしょうか。実は財産の多い少ないは、幸せとはあまり関係がないようです。お金や社会的地位などの地位財（他人との比較によって満足が得られる財）の幸福感は長くは続きません。むしろ非地位財（健康や安全、人とのつながり、家族の愛情など）の方が長続きします。昔読んだ本の中に、子どもたちは誰でも、どんな素敵なクリスマスプレゼントよりも、本当に欲しいのは家族の愛情なのだ、と書かれていたのを思い出します。

幸せを感じることができるためには、安全であること、健康であること、そして4つの心の持ちようだと言います。その4つとは

- ① やってみようの気持ち…夢や目標をもってワクワクし、チャレンジすること
- ② 感謝の気持ち…信頼できる人間関係をもち、利他的な行動をとること
- ③ 楽観的な気持ち…ポジティブな言葉を使い、笑顔で、自分を信じること
- ④ ありのままがいいという気持ち…人と比べず、自分の強みを知ること

100歳近いお年寄りには幸福感が高い人が多いそうです。それは、老年人的超越と言って、人と比べなくなり、自己中心性が減少するからです。渋沢栄一は子どものころ、「自分だけの幸せを追うんじゃない、みんなの幸せを求めろんだよ。」と言われて育ったそうです。自分だけの幸せを追いかけるより、人の幸せも一緒に願う人の方が幸せになれるのかもしれないですね。

何より心に残ったのは、幸せは人にうつる、という言葉でした。幸せな人は周りの人も幸せにする、ということです。子どもたちを幸せにしたいなら、親や周りの人が幸せになることが大切です。子どもも大人もみんなが幸せになる新田小学校であるよう、今後も努めてまいります。

この度、港北区スポーツ協会様より、港北区の市立小学校の子どもたちのために、「スポーツ支援金」をいただきました。コロナ禍で運動についても制限されている中ですが、子どもたちが楽しく運動に取り組めるように、ボール等を購入させていただきました。本当にありがとうございました。

非常に感染力の強いウイルスがまん延し、感染が拡大しています。学校では感染拡大防止措置に徹底を図りながら、教育活動は継続していきます。学校が感染拡大の場にならないように、健康観察の徹底をお願いします。

・お子さんにのどの違和感等の体調の変化があった時は、登校を控えてください  
・ご家族に発熱等の風邪症状がある場合も、お子さんの登校は控えてください  
他の学校では、感染が拡大し、学級閉鎖や学年閉鎖、休校等の措置がとられているケースもあります。ご理解とご協力をお願いいたします。